

2017年度 (平成29年度)

学生募集要項 **A**

西九州大学大学院 生活支援科学研究科

修士課程 [健康栄養学専攻・リハビリテーション学専攻・子ども学専攻]

博士前期・博士後期課程 [地域生活支援学専攻]

一般試験 ・ 社会人試験 ・ AO方式試験

学校法人 永原学園



NISHIKYUSHU UNIVERSITY

西九州大学

CONTENTS

	ページ
研究科の教育理念・目標	2
研究科の入学選抜方針(アドミッション・ポリシー)	2
研究科の学位授与方針(ディプロマ・ポリシー)	3
研究科の教育課程編成・運営方針(カリキュラム・ポリシー)	3
インターネット出願の流れ	5
全入試共通事項	6
一般試験・社会人試験・AO方式試験 共通事項	
1 専攻・募集人員等	7
2 平成29年度入学試験日程	7
3 出願及びエントリーシート提出先	7
4 入学検定料	8
5 合格発表	8
6 入学手続	8
7 学 費 等	8
8 交 通	8
9 免許・資格等	8
10 入学辞退者の取り扱い	8
一般試験【健康栄養学専攻・地域生活支援学専攻(博士前期課程)・リハビリテーション学専攻・子ども学専攻】	
1 受験資格	9
2 出願手続	10
3 選考方法	10
一般試験【地域生活支援学専攻(博士後期課程)】	
1 受験資格	11
2 出願手続	12
3 選考方法	12
社会人試験【健康栄養学専攻・地域生活支援学専攻(博士前期課程)・リハビリテーション学専攻・子ども学専攻】	
1 受験資格	13
2 出願手続	14
3 選考方法	14
社会人試験【地域生活支援学専攻(博士後期課程)】	
1 受験資格	15
2 出願手続	16
3 選考方法	16
AO方式試験【健康栄養学専攻・地域生活支援学専攻(博士前期課程)・リハビリテーション学専攻・子ども学専攻】	
1 趣 旨	17
2 受験資格	17
3 AO方式試験の主な流れ	18
4 選考方法	18
5 エントリーシート提出期間等	18
6 出願手続	18
■授業科目及び担当教員一覧(平成28年度)	19
■大学院担当教員(平成28年度)	23
■学費減免制度(外国人留学生対象)	24
■本学独自の奨学金制度	24
■長期履修制度	25
■平成28年熊本地震被災者への入学検定料免除の特別措置について	26
(とじ込み書類)	
■AO方式試験エントリーシート、志望理由書、推薦書、研究計画書、職務経歴書、 入学資格審査申請請求書、履歴書、平成29年度西九州大学奨学金申請書、長期履修申請書 熊本地震被災者への特別措置[平成29年度入学検定料免除申請書]	巻末

○個人情報保護について

本学は、個人情報の重要性を認識し、責任をもって情報の保護に努めています。受験生からいただいた個人情報は、漏洩防止・管理・廃棄を適切に行い、第三者への提供・開示等は一切行いません。

入学願書等に記入されたすべての個人情報は、入学試験事務処理を行うために利用します。また、本学で入学の意志を確認し、入学手続を完了した受験者の情報は、使用目的を明確にし、制限した上で学生情報の基礎データとして活用します。予めご了承ください。

研究科の教育理念・目標

本大学院では、地域の自然や文化を愛し、人類文化・思想の多様性を受け入れ、豊かなコミュニケーション能力、専門的知識・技能を駆使して、グローバル化、高齢化・人口減少社会等によってもたらされた新しい課題の解決に向けた実践及び研究を志向し、「地域生活を支援し、創造することができる高度の専門職業人および研究者」を育てることを、教育の理念・目標として定める。

研究科の入学選抜方針（アドミッション・ポリシー）

西九州大学大学院の教育理念・目標に則り、地域の人々の生活を支援するために必要な専門分野の学理を深く探求したいと希望する者及び多角的な視点から実践研究を希望する者に門戸を開いている。そのために、各専攻及び課程の特性に応じた適切な方法で入学選抜を実施し、大学院教育を受けるにふさわしい能力・適性等を多面的・総合的かつ公正に評価し、以下の要件を満たす者を積極的に受け入れる。

健康栄養学専攻

- ・栄養学に関する専門職としての高度な実践力を磨きたい者
- ・栄養系の資格をもとに実践現場で活躍している者で、現場から醸成された実際的な問題を解決したいと考えている者
- ・栄養学について深く学び、研究したいと考える者

リハビリテーション学専攻

- ・リハビリテーション系学部・学科等において、理学療法または作業療法の専門教育を受け、さらに高度な専門職としての知識・技術を継続・深化させたいと希望する者
- ・理学療法士または作業療法士の資格をもとに各実践現場で活躍し、現場から醸成された実際的な問題意識をもつ者

子ども学専攻

- ・子ども学系、教育系、保育系の学部・学科等において教育学、保育学の専門教育を受け、さらに高度な知識と技能を修得して、高度な専門職業人としての能力を身に付けたいと希望する者
- ・小学校、幼稚園、保育所、児童福祉施設等で子どもの教育・保育に従事し、さらに高度な専門職業人としての能力を磨きたいと希望する者
- ・子育てサポートセンターや学童保育、子育てNPO等で子育て支援事業等に参画し、子育て支援リーダーとしての専門的能力を身に付けたいと希望する者
- ・子どもと子どもの教育、子育てに対して強い関心を持ち、保育・教育分野における専門的知識と技術の習得のうえに、研究活動や実践活動を通して社会に貢献したいと希望する者

地域生活支援学専攻（博士前期課程）

- ・人々が営む生活や、その人々が生活する地域や社会に強い関心を持ち、社会福祉や健康スポーツに関する学問的基礎知識のある者
- ・社会福祉についての、高度な専門的知識と理論・技能を修得して、研究活動や実践活動を通して社会に貢献したいと考えている者

地域生活支援学専攻（博士後期課程）

- ・人々が営む生活や、その人々が生活する地域や社会に強い関心を持ち、社会福祉や地域社会支援、健康支援などに関する学問的基礎知識のある者
- ・社会福祉についての、高度な専門的知識と理論・技能を修得して、研究活動や実践活動を通して地域社会に貢献したいと考えている者

研究科の学位授与方針(ディプロマ・ポリシー)

西九州大学大学院は、大学院の教育理念・目標を踏まえ、地域で生活する人々の生活を支援するために必要な各専攻及び課程で定められた科目を所定の単位修得し、修士論文及び博士論文の審査及び最終試験に合格した者に、各専門領域に応じた学位を授与する。

健康栄養学専攻

健康栄養学専攻は、本専攻の教育理念・目標を踏まえ、地域で生活する人々の生活の支援としての栄養ケアの実践と検証のために必要な科目として、必修科目10単位、選択科目より20単位以上、合計30単位以上を修得し、修士論文の審査及び最終試験に合格した者に、修士(健康栄養学)の学位を授与する。

リハビリテーション学専攻

理学療法または作業療法に関する高度な知識や技能を身につけ、リハビリテーションに関する研究をすすめることができ、障害のある人の社会参加や地域生活支援を実践できる能力を修得し、必修科目14単位、展開分野の3領域の特論の中から、自らが専攻する領域から3科目6単位以上、合計30単位以上を修得し、修士論文の審査及び試験に合格した者に修士(リハビリテーション学)の学位を授与する。

子ども学専攻

子ども学に関する高度な知識や技能を身につけ、教育保育の現場で活用しうるような課題発見力と探究力、問題解決能力を修得した者に、修士(子ども学)の学位を授ける。

地域生活支援学専攻(博士前期課程)

地域生活支援学に関する高度な知識や技能と多角的な視点から地域の生活支援を実践できる能力を身につけ、必修科目10単位以上、選択単位20単位以上、合計30単位以上を修得し、修士論文の審査及び試験に合格した者について、生活支援科学修士の学位を授与する。

地域生活支援学専攻(博士後期課程)

提出された博士論文が、「論文テーマの重要性・独創性」、「先攻研究及び関連研究のレビュー及び理解」、「研究方法の独創性並びに妥当性」、「論文の構成」、「論述の一貫性と体系的」、「引用・参考文献の適切性並びに記述の様式」において適正に処理されているかどうかを考慮し、かつ当該論文の内容が独創性をもち、地域生活支援学研究の発展に寄与するものとなっているか否かを総合的に判断して行い、かつ最終試験に合格した者について、生活支援学博士の学位を授与する。

研究科の教育課程編成・運営方針(カリキュラム・ポリシー)

教育課程編成の方針

1. 西九州大学大学院は、大学院の教育理念・目標を達成するために必要な授業科目を開設し、体系的に教育課程を編成する。
2. 西九州大学大学院の教育課程の編成に当たっては、地域で生活する人々の生活を支援するために必要な研究技法を教授するとともに、各専攻及び課程に係る高度な専門職業人及び研究者として活躍するために必要な専門の知識、技能を取得できるよう科目を適切に配置する。

教育課程運営の方針

西九州大学大学院は「学位授与の方針」に定めた、修了時までには修得すべき知識・能力等が、カリキュラム体系のなかでどのように養成されるのかを示すため履修モデル等で明示する。

健康栄養学専攻

教育課程編成の方針

本専攻では、健康栄養学を基盤として、栄養学の実践としての生活支援を行うことができる高度な専門的技術者の養成を行う。学部で身につけた栄養学の知識を基礎として、現状の分析に基づいた個別の栄養ケアと、他職種の専門分野を理解した包括的な栄養ケアが実践できるようになることを目指すために次のような教育課程編成をおこなう。

1. 生活支援科学特論を、他専攻の学生と共に学ぶことで、生活支援科学を俯瞰的に捉える視点を養う。
2. 学部レベルの学問をさらに深化させるための専門科目を基礎分野から専門分野まで幅広く配置している。
3. これらの講義と平行して、入学当初から栄養学に関わる研究テーマを設定し、指導教員のもとで研究の計画、実施、論文作成を行い、研究の方法を身につける。
4. ティーチングアシスタント制度によって、教育の一端を担うことにより、教育の実施方法や教材等の作成の体験ができるような体制を整えている。

教育課程運営の方針

上記の教育課程を、カリキュラム体系のなかでどのように養成されるのかを示すため履修モデル等で明示する。

研究科の教育課程編成・運営方針(カリキュラム・ポリシー)

リハビリテーション学専攻

教育課程編成の方針

リハビリテーション学専攻は、障害のある人の社会参加や地域生活支援の実践に必要な知識・技能および研究能力を修得できるよう適切に科目を配置する。

1. 種々の障害により地域や在宅での生活継続が困難な人びとの、社会参加や地域生活支援を実践するために必要な科目を配置する。
2. リハビリテーション研究の基礎を学び、理学療法、作業療法および関連学問領域の最新の動向を学ぶ科目を配置する。
3. リハビリテーション支援を身体機能障害領域、認知・精神機能障害領域、生活機能障害領域の3つの領域から捉え、領域毎にそれぞれの観点から研究する科目を配置する。

教育課程運営の方針

障害のある人の社会参加や地域生活支援の実践に必要な知識・技能および研究能力等が、カリキュラム体系の中でどのように養成されるのか履修モデル等で明示する。

子ども学専攻

教育課程編成の方針

子ども学専攻は、保育・教育の質的高度化に資する専門的な知識と技能について研究し、現場での実践に応用する能力を育成するように適切に科目を配置する。

1. 本専攻の必須科目として、子ども研究の基盤を学ぶ「子ども学特論」、子どもへの生活支援のあり方を学ぶ「子ども学実践演習Ⅰ(子ども支援の展開)」、子どもの教育現場における最新動向を学ぶ「子ども学実践演習Ⅱ(子ども教育の展開)」を配置する。
2. 選択科目として、子どもの教育や生活支援の方法を個別的観点から考究する科目を、「教育分野」「教科分野」「支援分野」に区分して配置する。
3. 小学校教諭専修免許状を取得できる課程を設け、教育学・心理学の基礎理論を深化して各教科の指導法を開発するとともに、学校現場の今日的課題に対応しうる高度な応用力、課題解決能力を育成する科目を配置する。

教育課程運営の方針

本専攻では、上記の必修科目を「基幹分野」とし、選択科目については、学生の目的意識に即して、「教育分野」「教科分野」「支援分野」の各分野から最低1科目、合計7科目を履修することを、履修モデルで明示している。

地域生活支援学専攻(博士前期課程)

教育課程編成の方針

本専攻教育課程では、複雑な現代社会での人の生活支援の基盤を支える社会福祉学の原理や仕組みを多角的な視点から学び地域生活支援に関する専門的知識・技能および研究能力を修得できるように適切に科目を配置する。

1. 地域生活支援科学の研究手法、隣接領域等に関する科目から地域生活支援学の基礎が学べるよう配置する。
2. 地域生活支援を多角的に分析・検討・考察できるように設定し、豊かで実践的な視点を養い生活支援専門職の実践力を高めるよう工夫する。
3. 研究指導により修士論文を作成し、地域生活支援学の研究能力を培うように設定する。

教育課程運営の方針

本専攻では、4つの領域(1) 共通分野(必修) 1科目、(2) 基礎分野14科目、(3) 展開分野10科目、(4) 研究演習1科目として配慮された合計26科目のなかから、合計30単位を最低限履修することを要件としている。履修においては、地域生活支援の実践に必要な知識・技能および研究能力等が、カリキュラム体系の中でどのように養成されているのか履修モデル等で明示している。

地域生活支援学専攻(博士後期課程)

教育課程編成の方針

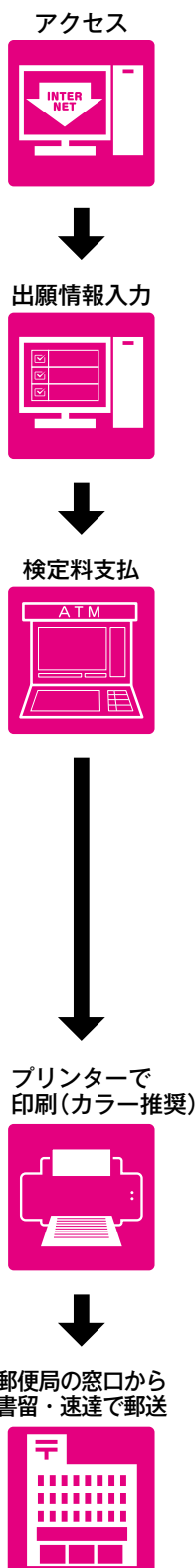
本専攻教育課程では、社会福祉学を基盤としつつ、地域生活支援や地域再生・創生に関連する学術領域から構成し、2つの観点を備える自立的な研究者及び実践的実務的な研究者の育成を進めることのできる体系化を図っている。特に、多くの複雑な要因が絡み合う地域生活支援、地域再生・創生の問題や課題を扱うことから、(1) 複合的・重層的・多層的な接近法(視角)、(2) 実践的接近法という2つの観点と、その具体的な接近方法を修得するために、研究モデルを設定し、これと繋がる履修モデルを包摂する4つの科目領域を編成している。

教育課程運営の方針

本専攻では、4つの領域(1) 原理分野7科目、(2) 展開分野7科目、(3) 研究演習3科目、(4) 特別演習3科目として配置された合計20科目のなかから、必修科目4科目を含む21単位を最低限履修することを要件としている。履修においては、4つの研究モデルと繋がる4つの履修モデルを示して、学生が自らの研究課題意識や進路を考慮して必要と判断する科目をさらに選択し履修することができるようにカリキュラムを編成している。

インターネット出願の流れ

※ご利用にあたってはPCメールアドレス・パソコン（インターネット接続済）プリンター（A4）出力（カラー推奨）が必要です。
以下の全ての手順を完了することで出願完了となります。



STEP1 ネット出願サイトへアクセス

大学ホームページ▶ <http://www.nisikyu-u.ac.jp/> からアクセス
※事前に本学学生募集要項を熟読し内容をご確認ください。
なお本学学生募集要項は、本学ホームページでも閲覧できダウンロードも可能です。

STEP2 出願内容の登録

- ①画面の手順や留意事項を必ず確認してください。
- ②画面に従って出願内容の選択、必要事項を入力してください。
- ③入学検定料のお支払方法を選択してください。
お支払いに必要な情報（払込票番号、お客様番号、確認番号、お支払い期限など）を必ず控えてください。

払込票番号メモ (13桁)													
お客様番号メモ (11桁)													
確認番号メモ (6桁)						お支払い期限メモ							

STEP3 入学検定料のお支払い

- ▶コンビニ（セブン-イレブン、ローソン、ファミリーマート、サークルK・サンクス、ミニストップ、デイリーヤマザキ、スリーエフ）で入学検定料をお支払いください。
 - セブン-イレブン
 - ▶店頭レジにて「インターネット代金支払い」と伝え、「払込票番号（13桁）」を提示してお支払いください。
 - ローソン/ミニストップ（店頭端末 Loppi にて、以下の順でお手続き。）
 - ▶各種番号をお持ちの方→「お客様番号（11桁）」入力→マルチペイメントサービス（各種代金のお支払い）→「確認番号（6桁）」入力
 - ファミリーマート（店頭端末 Fami ポートにて、以下の順でお手続き。）
 - ▶代金支払い→各種代金お支払い（マルチペイメントサービス）→「お客様番号（11桁）」入力→「確認番号（6桁）」入力
 - サークルK・サンクス（店頭端末カルワサステーションにて、以下の順でお手続き。）
 - ▶各種支払い→マルチペイメントサービス→「お客様番号（11桁）」「確認番号（6桁）」入力
 - デイリーヤマザキ/スリーエフ
 - 店頭レジにて「オンライン決済」と伝え「オンライン決済番号（11桁）」を提示してお支払いください。
 - ▶ペイジー対応銀行ATMでお支払い（ゆうちょ銀行も可）
ペイジー対応ATMにて、「税金・料金払込」より「収納機関番号（5桁）」、「お客様番号（11桁）」、「確認番号（6桁）」を入力し、画面の指示に従って操作のうえお支払いください。
 - ▶ネットバンキングでお支払い 注意：決済する口座がネットバンキング契約されていることが必要です。
ご利用画面からそのまま各金融機関のページへ遷移しますので、画面の指示に従って操作し、お支払いください。
 - ▶クレジットカードでお支払い 画面の指示に従って必要事項を入力の上、お手続きください。
《ご利用可能なクレジットカード》
VISA、Masterカード、JCB、AMERICAN EXPRESS、MUFGカード、DCカード、UFJカード、NICOSカード
※入学検定料の他に振込手数料がかかります。
※一度納入した入学検定料は返還いたしません。
※クレジットカードの名義人は、受験生本人でなくても構いません。

STEP4 各帳票をプリンターにてA4サイズで印刷（カラー推奨）

入学検定料の納入完了後、出願内容をネット出願サイトで確認の上、「ネット出願確認票・写真票」などを印刷（カラー推奨）してください。
※ページの拡大/縮小は「なし」で印刷してください。
※「自動回転と中央配置」にチェックを入れて印刷してください。

STEP5 書類の提出

「ネット出願確認票・写真票」に「写真2枚」を貼り付け、他の必要書類（調査書等）と合わせて郵送（簡易書留・速達）または、大学事務局窓口を持参してください。
※出願封筒は市販の角2封筒に、印刷した「封筒貼付宛名シート」を貼り付けて使用してください。

出 願 完 了

出願期間終了後、大学より受験票を郵送します

【備考】

- 出願内容の登録完了後の変更は一切できませんので、入力した内容を十分に確認してください。
- 入学検定料の支払い前に出願内容の誤りに気付いた場合は、入学検定料を納入せずに、もう一度STEP2 出願内容の登録からやり直してください。

全入試共通事項

◆出願上の注意

- ① 出願は、ネット出願サイトで登録し、入学検定料の納入および必要書類の本学到着をもって受付完了となります。なお、必要書類は市販されている角2封筒（A4用紙が入るサイズ）を使用し、必ず書留・速達で速やかに郵送してください。十分に余裕を持って手続をしてください。
- ② 出願受付後の申し出などによる変更は一切認めません。
- ③ 受験票は、出願書類受付処理の関係上、出願期間締切日以後、出願者全員分を一括して作成し、速達にて送付します。
- ④ 受験生氏名等の漢字表記について
本学では、ネット出願における氏名等入力時入力できる漢字についてはJIS漢字符号表第一、第二水準以外の漢字を代替文字に置き換えております。その結果、本来の漢字氏名等とは異なる表記がなされる場合がありますので、あらかじめご了承ください。
なお、これらの表記内容については、出願書類到着後に再度確認を行います。

◆本来の漢字氏名と異なる表記の事例

角→角 羆→鶴 吉→吉 原→原 高→高 廣→廣 徳→徳 濱→濱 邊→邊
崎→崎 奇→奇 真→真 蔡→秦 桑→桑 土→土 邊→邊 柳→柳 隆→隆

◆受験上の注意

- ① 受付時刻については、受験票送付文書においてお知らせします。
- ② 受験票を机の端に置いて待機してください。
- ③ 筆記用具（鉛筆・ペン・消ゴム）の他は使用できません。
- ④ 問題及び解答用紙には、受験番号を算用数字で必ず明記してください。
・無記名、誤記入の解答用紙は無効となります。
・問題用紙、解答用紙を持ち出すことはできません。
- ⑤ 上履きは必要ありません。
- ⑥ 午後から面接試験がありますので、昼食を持参してください。
- ⑦ 本学までは、JR神埼駅北口から無料スクールバスを運行しています。運行時刻については、受験票に同封して送付します。
- ⑧ 身体に障がいがある方は出願前にご相談ください。

◆受験上の心得

- ① 受験票は、必ず持参してください。なお、万一受験票を紛失したり忘れてしまった場合は、速やかに入試広報課または試験場係員に申し出てください。
- ② 試験開始後20分以上遅刻した場合は、受験することができません。
- ③ 雪害等の交通機関への影響に十分留意し、集合時間に遅れないように注意してください。
- ④ 試験当日の不測の事態（大雪など）への対応措置（試験時間の繰り下げなど）については、本学ホームページでお知らせします。
- ⑤ 〈感染症に対する注意事項〉
試験当日、学校保健安全法で出席の停止が定められている感染症（新型および季節性インフルエンザ、麻疹、水疱瘡等）に罹患し治癒していない場合は、他の受験者や監督者等に感染するおそれがありますので、原則として受験をご遠慮願います。
ただし、症状により学校医その他の医師において伝染の恐れがないと認められたときは、この限りではありません。
なお、上記により受験をご遠慮いただいた場合でも、追試験などの措置、入学検定料の返還は行いません。試験当日の体調管理については十分に注意してください。
- ⑥ 試験当日に咳やくしゃみが出ることが予想される人は、マスクを持参してください。
- ⑦ 受験の際は、すべて試験監督者の指示に従ってください。指示に従わなかったり、不正行為等をしたときは退場させることがあります。
- ⑧ 体の具合が悪くなった場合は、試験監督者に申し出てください。休養または別室での受験を認める場合があります。その際の試験時間の延長は認めません。
- ⑨ 試験会場には付添者控室がありますが、付添者は試験室のある校舎内に入ることはできません。

一般試験・社会人試験・AO方式試験 共通

1 専攻・募集人員等 …▶

研究科名	専攻名	課程	修業年限	学位	募集人員	計
生活支援科学研究科	健康栄養学専攻	修士課程	2年	修士(健康栄養学)	2名	18名
	地域生活支援学専攻	博士前期課程	2年	修士(生活支援学)	5名	
	リハビリテーション学専攻	修士課程	2年	修士(リハビリテーション学)	3名	
	臨床心理学専攻(※)	修士課程	2年	修士(臨床心理学)	4名	
	子ども学専攻	修士課程	2年	修士(子ども学)	4名	
	地域生活支援学専攻	博士後期課程	3年	博士(生活支援学)	3名	3名

※臨床心理学専攻の詳細については大学院「2017年度(平成29年度)学生募集要項⑥」に記載

2 平成29年度 入学試験日程

試験	AO入試エントリー期間 〔締切日に必着〕	出願期間 〔締切日の消印有効〕	試験日	合格発表日	入学手続 締切日	試験・AO面談会場	
一般Ⅰ期 社会人Ⅰ期		平成28年 9月2日(金)～ 9月8日(木)	平成28年 9月17日(土)	平成28年 9月23日(金)	平成28年 9月30日(金)	本学 (神埼キャンパス)	
一般Ⅱ期 社会人Ⅱ期		平成29年 2月13日(月)～ 2月17日(金)	平成29年 2月25日(土)	平成29年 3月3日(金)	平成29年 3月9日(木)		
AO方式	Ⅰ期	平成28年 10月24日(月)～11月25日(金)	平成29年 1月10日(火)～ 1月25日(水)	平成29年 2月14日(火)	平成29年 2月21日(火)		
	Ⅱ期	平成28年11月28日(月)～ 平成29年1月13日(金)	平成29年 2月13日(月)～ 2月23日(木)		平成29年 3月3日(金)		平成29年 3月9日(木)
	Ⅲ期	平成29年1月16日(月)～ 以降随時	出願許可時通知		随時		合格発表時 通知

※AO方式試験については、地域生活支援学専攻(博士後期課程)以外の全専攻で実施となります。
なお、子ども学専攻の面談は、佐賀キャンパスで実施します。

●受験資格認定審査の書類提出期間

修士課程・博士前期課程対象：大学卒業(見込み)資格を有していない者で、本学大学院において受験資格の認定が必要な者
博士後期課程対象：修士の学位(取得見込み)を有していない者で、本学大学院において受験資格の認定が必要な者

試験	受験資格認定審査の書類提出期間〔締切日に必着〕
一般Ⅰ期・社会人Ⅰ期	平成28年7月11日(月)～7月15日(金)
一般Ⅱ期・社会人Ⅱ期	平成29年1月5日(木)～1月12日(木)
AO方式	エントリーシートを提出する前に審査を受けること

※詳細については各試験の「受験資格」の内容を確認ください

3 出願及びエントリーシート提出先 …▶

〒842-8585 佐賀県神埼市神埼町尾崎 4490-9

西九州大学 入試広報部 TEL (0952) 52-4191 (代)

(1) 窓口持参の場合は10:00～16:00までが受付時間です(土・日・祝日は除く)。

(2) 一度提出された書類及び入学検定料は返却しません。

4 入学検定料…▶ 30,000円

(Ⅰ期) 9月8日(木)の17時までにインターネットにて出願登録をし、18時までに入学検定料の納入をコンビニエンスストア等で済ませ、郵便局の窓口で各試験における「出願書類」を書留・速達で郵送(当日の消印有効)してください。

(Ⅱ期) 2月17日(金)の17時までにインターネットにて出願登録をし、18時までに入学検定料の納入をコンビニエンスストア等で済ませ、郵便局の窓口で各試験における「出願書類」を書留・速達で郵送(当日の消印有効)してください。

(AO) Ⅰ期・Ⅱ期の出願締切日の17時までにインターネットにて出願登録をし、18時までに入学検定料の納入をコンビニエンスストア等で済ませ、郵便局の窓口で各試験における「出願書類」を書留・速達で郵送(当日の消印有効)してください。※Ⅲ期は出願許可後に指定された期間に振り込んでください。

※郵便局の窓口営業時間は各店舗で異なりますので、事前に確認してください。

5 合格発表…▶ 合格発表日の10時より学内掲示等を行い、合格者には入学手続きに必要な書類等を合格発表日に発送(投函)します。AO方式試験Ⅲ期については郵送にて通知します。なお、電話による合否の問い合わせには応じません。

6 入学手続…▶ 期日までに以下の(1)～(2)の手続きを行うことで、入学手続きは完了します。「手続きの案内」及び「手続きに必要な書類」については、合格通知とともに郵送します。なお、期日までに入学手続きを完了しない場合は、手続辞退者となります。

(1) **入学金(200,000円)の納入**

(2) **「誓約書」の提出**

7 学費等…▶ (平成29年度入学生予定)

区 分		入学手続時	前期(4月)	後期(10月)	年額合計(円)
学 費	入 学 金	200,000			200,000
	授 業 料		305,000	305,000	610,000
委 託 徴 収 費	学生教育研究 災害傷害保険 (2カ年分)		1,200		1,200
	同窓会費(終身)		16,000		16,000
合 計		200,000	322,200	305,000	827,200

※本学卒業(見込み)者及び本学大学院修了(見込み)者、佐賀短期大学(現:西九州大学短期大学部)卒業生及び専攻科修了(見込み)者、西九州大学福祉医療専門学校卒業生については「入学金」を全額免除。
※博士後期課程の学生教育研究災害保険料は、(3カ年分)として、1,800円を徴収いたします。

8 交 通…▶ JRは長崎本線神埼駅、西鉄バスは神埼駅前通りで下車
JR神埼駅(北口)よりスクールバスを運行(所要時間:約15分)
※試験当日は受験者に対し、予めスクールバスの運行時刻を通知します。

9 免許・資格等…▶ 小学校教諭専修免許状 ※子ども学専攻のみ
臨床心理士受験資格(財団法人日本臨床心理士資格認定協会) ※臨床心理学専攻のみ

10 入学辞退者の取り扱い…▶

入学許可を受けた者が入学を辞退する場合は、平成29年3月31日(金)〈必着〉までに「入学辞退願(書式自由):受験番号、合格専攻、氏名(捺印)、辞退理由」に「入学許可書」を添えて入試広報課まで提出してください。

※入学金の返還はいたしません。

7 受験資格 …▶

次のいずれかに該当する者

- (1) 学校教育法第83条に定める大学を卒業した者、または平成29(2017)年3月31日までに卒業見込みの者
- (2) 学校教育法第104条第4項の規定により、大学評価・学位授与機構から学士の学位を授与された者、または平成29(2017)年3月に学士の学位を授与される見込みの者
- (3) 外国において学校教育における16年の課程を修了した者、または平成29(2017)年3月修了見込みの者
- (4) 外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより、当該外国の学校教育における16年の課程を修了した者、または平成29(2017)年3月修了見込みの者
- (5) 文部科学大臣の指定した者(昭和28年2月7日文部省告示第5号)
- (6) 平成29(2017)年3月31日において、大学に3年以上在学し、所定の単位を優れた成績をもって修得したものと本学大学院が認めた者
- (7) 短期大学、高等専門学校、専修学校、各種学校の卒業生やその他の教育施設の修了者などで、本学大学院において個別の入学資格審査により、大学を卒業した者と同等以上の学力があると認めた者で、22歳に達した者及び平成29(2017)年3月31日までに22歳に達する者

注1. (6)の受験資格により受験を希望する者は、事前に入試広報部に相談すること。

注2. (7)の受験資格により受験を希望する者は、予め「受験資格の認定審査(個別の入学資格審査)」を行うので、事前に入試広報部に相談すること。



■**受験資格の認定審査**〔対象：受験資格(7)による受験希望者〕

〈必要書類〉…(1) 入学資格審査申請請求書：本冊子とじ込みの用紙、または本学ホームページよりダウンロード

(2) 履歴書：本冊子とじ込みの用紙、または本学ホームページよりダウンロード

(3) 最終出身学校の卒業(修了)証明書

(4) 最終出身学校の成績証明書

(5) 志望理由書：本冊子とじ込みの用紙、または本学ホームページよりダウンロード

※審査書類は審査が終了しても返却しない。

〈審査書類提出先〉…入試広報部

〈提出期間等〉…7ページ「受験資格認定審査の書類提出期間」を参照

※この認定は本学大学院の判断により行うものであり、その効力は本学大学院についてのみ生じます。

2 出願手続 …▶

〈出願期間〉

I 期	平成28年 9月 2日(金)～ 9月 8日(木)
II 期	平成29年 2月13日(月)～ 2月17日(金)

ネットで出願を済ませた後、以下の書類を書留・速達で郵送してください（P. 5 参照）。

- (1) **ネット出願確認票・写真票**：ネット出願サイトから、出願登録および入学検定料納入後に発行される書類です。写真 2 枚(脱帽・上半身、縦 4cm×横 3cm、3 ヶ月以内に撮影したもの) を貼付してください。
- (2) **卒業証明書または卒業見込証明書、もしくは学位授与証明書あるいは学位授与申請受理証明書（大学評価・学位授与機構発行）**
- (3) **成績証明書**：出身大学等のもの
- (4) **志望理由書**：本冊子とじ込みの用紙、または本学ホームページよりダウンロード
- (5) **英語外部試験の公式スコアを証明する書類**：（該当者のみ）

※9ページ「1 受験資格」の(7)により、本大学院が受験を認めた者の出願書類については、上記書類のうち、(2)(3)(4)は提出する必要はありません。

外国人の方（日本国籍を有していない方）は、在留資格や経歴等によって別途の書類提出が必要となりますので、出願開始2週間前までに入試広報課（0952-37-9207）までご連絡ください。

3 選考方法 …▶

入学者の選考は、それぞれの専攻で実施した英語、小論文または専門科目、面接等により、これらを総合して行う。

専攻	試験	試験科目	試験時間	配点	
健康栄養学専攻 リハビリテーション学専攻 子ども学専攻	I 期	英 語	9：30～10：30	50点	250点
		小 論 文	10：50～12：20	100点	
		面 接	13：15～	100点	
地域生活支援学専攻 (博士前期課程)	II 期	英 語	9：30～10：30	50点	250点
		専 門 科 目	10：50～12：20	100点	
		面 接	13：15～	100点	

※英語：大学が貸与する辞書を使用可能

※英語：TOEIC® 500点以上、TOEFL®-PBT460点以上、TOEFL®-IBT50点以上のスコア獲得者（出願期間末日より過去2年以内に受験）は試験免除とする。必ず「公式認定証」または「公式スコアレポート」の写しをいずれか1つ提出すること。

※専門科目（地域生活支援学専攻）：社会福祉等に関する専門知識

※小論文：専攻に関するテーマに基づく論述式試験

7 受験資格 …▶ 次のいずれかに該当する者

- (1) 修士の学位を有する者、または平成 29(2017)年 3 月 31 日までに修士学位取得見込みの者
- (2) 外国の大学院において、修士に相当する学位を得た者、または平成 29(2017)年 3 月 31 日までに学位取得見込みの者
- (3) 外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより、修士に相当する学位を得た者、または平成 29(2017)年 3 月 31 日までに修士に相当する学位取得見込みの者
- (4) 文部科学大臣の指定した者
- (5) 本学大学院において、個別の入学資格審査により、修士の学位を有する者と同程度の学力があると認めた者で、24 歳に達した者または平成 29(2017)年 4 月 1 日までに 24 歳に達する者
- (6) その他本大学院において、修士の学位を有する者と同程度の学力があると認めた者

注 1. (6)の受験資格により受験を希望する者は、事前に入試広報部に相談すること。

注 2. (5)の受験資格により受験を希望する者は、予め「受験資格の認定審査（個別の入学資格審査）」を行うので、事前に入試広報部に相談すること。



■ 受験資格の認定審査〔対象：受験資格(5)による受験希望者〕

〈必要書類〉…(1) 入学資格審査請求書：本冊子とじ込みの用紙、または本学ホームページよりダウンロード

(2) 履歴書：本冊子とじ込みの用紙、または本学ホームページよりダウンロード

(3) 最終出身学校の卒業（修了）証明書

(4) 最終出身学校の成績証明書

(5) 出願までの研究報告、論文、学会発表、実務に関わる企画書、報告書等、研究の履歴やレベルを判定することが可能な資料（現物 3 点以上：修士論文相当の研究成果物であること）

(6) 研究計画書：本冊子とじ込みの用紙、または本学ホームページよりダウンロード（パソコンでの入力可）

※審査書類は審査が終了しても返却しない。

〈審査書類提出先〉…入試広報部

〈提出期間等〉…7 ページ「受験資格認定審査の書類提出期間」を参照

※この認定は本学大学院の判断により行うものであり、その効力は本学大学院についてのみ生じます。

2 出願手続 …▶

〈出願期間〉

I 期	平成28年 9月 2日(金)～ 9月 8日(木)
II 期	平成29年 2月13日(月)～ 2月17日(金)

ネットで出願を済ませた後、以下の書類を書留・速達で郵送してください（P. 5 参照）。

- (1) **ネット出願確認票・写真票**：ネット出願サイトから、出願登録および入学検定料納入後に発行される書類です。写真2枚(脱帽・上半身、縦4cm×横3cm、3ヵ月以内に撮影したもの)を貼付してください。
- (2) **修了証明書または修了見込証明書、もしくは学位授与証明書あるいは学位授与申請受理証明書（大学評価・学位授与機構発行）**
- (3) **成績証明書**：出身大学院等のもの
- (4) **研究計画書**：本冊子とじ込みの用紙、または本学ホームページよりダウンロード（パソコンでの入力可）
- (5) **学術論文**：修士論文かあるいはそれに代わるもの
- (6) **志望理由書**：本冊子とじ込みの用紙、または本学ホームページよりダウンロード

※ 11 ページ「1 受験資格」の(5)により、本大学院が受験を認めた者の出願書類については、上記書類のうち、(2)(3)(4)および(5)〈受験資格の認定審査時に提出している場合〉は提出する必要はありません。

外国人の方（日本国籍を有していない方）は、在留資格や経歴等によって別途の書類提出が必要となりますので、出願開始2週間前までに入試広報課（0952-37-9207）までご連絡ください。

3 選考方法 …▶

入学者の選考は、英語、小論文、面接、研究計画書等により、これらを総合して行う。

専攻	試験	試験科目	試験時間	配点
地域生活支援学専攻 (博士後期課程)	I 期	英語	9:30～10:30	50点
		小論文	10:50～12:20	100点
	II 期	面接	13:15～	100点
		研究計画書	書類審査	50点
				300点

※英語：大学が貸与する辞書を使用可能

※小論文：専攻に関するテーマに基づく論述式試験

社会人試験 【健康栄養学専攻・地域生活支援学専攻(博士前期課程)・リハビリテーション学専攻・子ども学専攻】

- 7 受験資格 …▶ 次の(1)~(6)のいずれかに該当する者で、入学時までには2年以上の社会人（有職者、主婦など）としての経験を有する者とする。
- (1) 学校教育法第83条に定める大学を卒業した者及び大学入学以前に2年以上の社会人としての経験を有する者であって、平成29(2017)年3月卒業見込の者
 - (2) 学校教育法第104条第4項の規定により、大学評価・学位授与機構から学士の学位を授与された者
 - (3) 外国において学校教育における16年の課程を修了した者
 - (4) 外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより、当該外国の学校教育における16年の課程を修了した者
 - (5) 文部科学大臣の指定した者（昭和28年2月7日文部省告示第5号）
 - (6) 短期大学、高等専門学校、専修学校、各種学校の卒業生やその他の教育施設の修了者などで、本学大学院において個別の入学資格審査により、大学を卒業した者と同等以上の学力があると認められた者で、24歳に達した者及び平成29(2017)年3月31日までに24歳に達する者

注 (6)の受験資格により受験を希望する者は、予め「受験資格の認定審査（個別の入学資格審査）」を行うので、事前に入試広報部に相談すること。



■**受験資格の認定審査**〔対象：受験資格(6)による受験希望者〕

- 〈必要書類〉…(1) 入学資格審査申請請求書：本冊子とじ込みの用紙、または本学ホームページよりダウンロード
- (2) 履歴書：本冊子とじ込みの用紙、または本学ホームページよりダウンロード
 - (3) 最終出身学校の卒業（修了）証明書
 - (4) 最終出身学校の成績証明書
 - (5) 志望理由書：本冊子とじ込みの用紙、または本学ホームページよりダウンロード

※審査書類は審査が終了しても返却しない。

〈審査書類提出先〉…入試広報部

〈提出期間等〉…7ページ「受験資格認定審査の書類提出期間」を参照

※この認定は本学大学院の判断により行うものであり、その効力は本学大学院についてのみ生じます。

2 出願手続 …▶

〈出願期間〉

I 期	平成28年 9月 2日(金)～ 9月 8日(木)
II 期	平成29年 2月13日(月)～ 2月17日(金)

ネットで出願を済ませた後、以下の書類を書留・速達で郵送してください（P. 5 参照）。

- (1) **ネット出願確認票・写真票**：ネット出願サイトから、出願登録および入学検定料納入後に発行される書類です。写真2枚(脱帽・上半身、縦4cm×横3cm、3ヵ月以内に撮影したもの)を貼付してください。
- (2) **卒業証明書または卒業見込証明書、もしくは学位授与証明書あるいは学位授与申請受理証明書（大学評価・学位授与機構発行）**
- (3) **成績証明書**：出身大学等のもの
- (4) **推薦書（提出任意）**：本冊子とじ込みの用紙、または本学ホームページよりダウンロード（パソコンでの入力可）。提出は任意であり、提出する場合は、官公庁、企業等の所属長が記入して厳封すること。提出された場合は、総合評価に含めます。
- (5) **研究計画書**：本冊子とじ込みの用紙、または本学ホームページよりダウンロード（パソコンでの入力可）

健康栄養学専攻 地域生活支援学専攻(博士前期課程) リハビリテーション学専攻 子ども学専攻	研究希望テーマと、その具体的内容を1,000字以内で記入すること
--	----------------------------------

- (6) **職務経歴書**：本冊子とじ込みの用紙、または本学ホームページよりダウンロード

※ 13 ページ「1 受験資格」の(6)により、本学大学院が受験を認めた者の出願書類については、上記書類のうち、(2)(3)(6)は提出する必要はありません。

外国人の方（日本国籍を有していない方）は、在留資格や経歴等によって別途の書類提出が必要となりますので、出願開始2週間前までに入試広報課（0952-37-9207）までご連絡ください。

3 選考方法 …▶

入学者の選考は、それぞれの専攻で実施した小論文、面接、推薦書及び研究計画書等により、これらを総合して行う。

専攻	試験	試験科目	試験時間	配点	
健康栄養学専攻 地域生活支援学専攻 (博士前期課程) リハビリテーション学専攻 子ども学専攻	I 期 II 期	小論文	10:50～12:20	100点	250点
		面接	13:15～	100点	
		研究計画書	書類審査	50点	

※小論文：専攻に関するテーマに基づく論述式試験

社会人試験 【地域生活支援学専攻（博士後期課程）】

- 7 受験資格 …▶ 次の(1)~(6)のいずれかに該当する者で、入学時までに2年以上の社会人（有職者、主婦など）としての経験を有する者とする。
- (1) 修士の学位を有する者、または平成29(2017)年3月31日までに修士学位取得見込みの者
 - (2) 外国の大学院において、修士に相当する学位を得た者、または平成29(2017)年3月31日までに学位取得見込みの者
 - (3) 外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより、修士に相当する学位を得た者、または平成29(2017)年3月31日までに修士に相当する学位取得見込みの者
 - (4) 文部科学大臣の指定した者
 - (5) 本学大学院において、個別の入学資格審査により、修士の学位を有する者と同等以上の学力があると認められた者で、24歳に達した者または平成29(2017)年4月1日までに24歳に達する者

注 (5)の受験資格により受験を希望する者は、予め「受験資格の認定審査（個別の入学資格審査）」を行うので、事前に入試広報部に相談すること。



■受験資格の認定審査〔対象：受験資格(5)による受験希望者〕

- 〈必要書類〉…(1) 入学資格審査申請請求書：本冊子とじ込みの用紙、または本学ホームページよりダウンロード
(2) 履歴書：本冊子とじ込みの用紙、または本学ホームページよりダウンロード
(3) 最終出身学校の卒業（修了）証明書
(4) 最終出身学校の成績証明書
(5) 出願までの研究報告、論文、学会発表、実務に関わる企画書、報告書等、研究の履歴やレベルを判定することが可能な資料（現物3点以上：修士論文相当の研究成果物であること）
(6) 研究計画書：本冊子とじ込みの用紙、または本学ホームページよりダウンロード（パソコンでの入力可）

※審査書類は審査が終了しても返却しない。

〈審査書類提出先〉…入試広報部

〈提出期間等〉…7ページ「受験資格認定審査の書類提出期間」を参照

※この認定は本学大学院の判断により行うものであり、その効力は本学大学院についてのみ生じます。

2 出願手続 …▶

〈出願期間〉

I 期	平成28年 9月 2日(金)～ 9月 8日(木)
II 期	平成29年 2月13日(月)～ 2月17日(金)

ネットで出願を済ませた後、以下の書類を書留・速達で郵送してください（P. 5 参照）。

- (1) **ネット出願確認票・写真票**：ネット出願サイトから、出願登録および入学検定料納入後に発行される書類です。写真2枚(脱帽・上半身、縦4cm×横3cm、3ヵ月以内に撮影したもの)を貼付してください。
- (2) **修了証明書または修了見込証明書、もしくは学位授与証明書あるいは学位授与申請受理証明書（大学評価・学位授与機構発行）**
- (3) **成績証明書**：出身大学院等のもの
- (4) **推薦書（提出任意）**：本冊子とじ込みの用紙、または本学ホームページよりダウンロード（パソコンでの入力可）。提出は任意であり、提出する場合は、官公庁、企業等の所属長が記入して厳封すること。提出された場合は、総合評価に含めます。
- (5) **研究計画書**：本冊子とじ込みの用紙、または本学ホームページよりダウンロード（パソコンでの入力可）

地域生活支援学専攻 (博士後期課程)	研究題目・研究目的・研究方法を具体的に 1,000字以内で記入すること
-----------------------	--

- (6) **職務経歴書**：本冊子とじ込みの用紙、または本学ホームページよりダウンロード
- (7) **学術論文**：修士論文かあるいはそれに代わるもの

※ 15 ページ「1 受験資格」の(5)により、本学大学院が受験を認めた者の出願書類については、上記書類のうち、(2) (3) (5) (6) および (7) 〈受験資格の認定審査時に提出している場合〉は提出する必要はありません。

外国人の方（日本国籍を有していない方）は、在留資格や経歴等によって別途の書類提出が必要となりますので、出願開始2週間前までに入試広報課（0952-37-9207）までご連絡ください。

3 選考方法 …▶

入学者の選考は、小論文、面接、推薦書及び研究計画書等により、これらを総合して行う。

専攻	試験	試験科目	試験時間	配点	
地域生活支援学専攻 (博士後期課程)	I 期 II 期	小論文	10:50～12:20	100点	250点
		面接	13:15～	100点	
		研究計画書	書類審査	50点	

※小論文：専攻に関するテーマに基づく論述式試験

AO方式試験

【健康栄養学専攻・地域生活支援学専攻（博士前期課程）・
リハビリテーション学専攻・子ども学専攻】

1 趣 旨 …▶ AO方式試験は、従来の学力試験だけでは計れない意欲、能力なども評価に加え、書類選考や面談等をとおして総合的に評価する対話型入学試験です。
受験生は別日程で実施する面談等によって大学とコミュニケーションをとり、本学の教育理念や教育方針を理解したうえで、大学院への入学を希望することができます。

2 受験資格 …▶ 合格した場合、必ず入学する意志のある者で、次のいずれかに該当する者

- (1) 学校教育法第83条に定める大学を卒業した者、または平成29(2017)年3月31日までに卒業見込みの者
- (2) 学校教育法第104条第4項の規定により、大学評価・学位授与機構から学士の学位を授与された者、または平成29(2017)年3月に学士の学位を授与される見込みの者
- (3) 外国において学校教育における16年の課程を修了した者、または平成29(2017)年3月修了見込みの者
- (4) 外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより、当該外国の学校教育における16年の課程を修了した者、または平成29(2017)年3月修了見込みの者
- (5) 文部科学大臣の指定した者（昭和28年2年7日文部省告示第5号）
- (6) 平成29(2017)年3月31日において、大学に3年以上在学し、所定の単位を優れた成績をもって修得したものと本学大学院が認めた者
- (7) 短期大学、高等専門学校、専修学校、各種学校の卒業生やその他の教育施設の修了者などで、本学大学院において個別の入学資格審査により、大学を卒業した者と同等以上の学力があると認めた者で、22歳に達した者及び平成29(2017)年3月31日までに22歳に達する者

注1. (6)の受験資格により受験を希望する者は、事前に入試広報部に相談すること。

注2. (7)の受験資格により受験を希望する者は、予め「受験資格の認定審査（個別の入学資格審査）」を行うので、事前に入試広報部に相談をすること。



■**受験資格の認定審査**〔対象：受験資格(7)による受験希望者〕

〈必要書類〉…(1) 入学資格審査申請請求書：本冊子とじ込みの用紙、または本学ホームページよりダウンロード

(2) 履歴書：本冊子とじ込みの用紙、または本学ホームページよりダウンロード

(3) 最終出身学校の卒業（修了）証明書

(4) 最終出身学校の成績証明書

(5) 志望理由書：本冊子とじ込みの用紙、または本学ホームページよりダウンロード

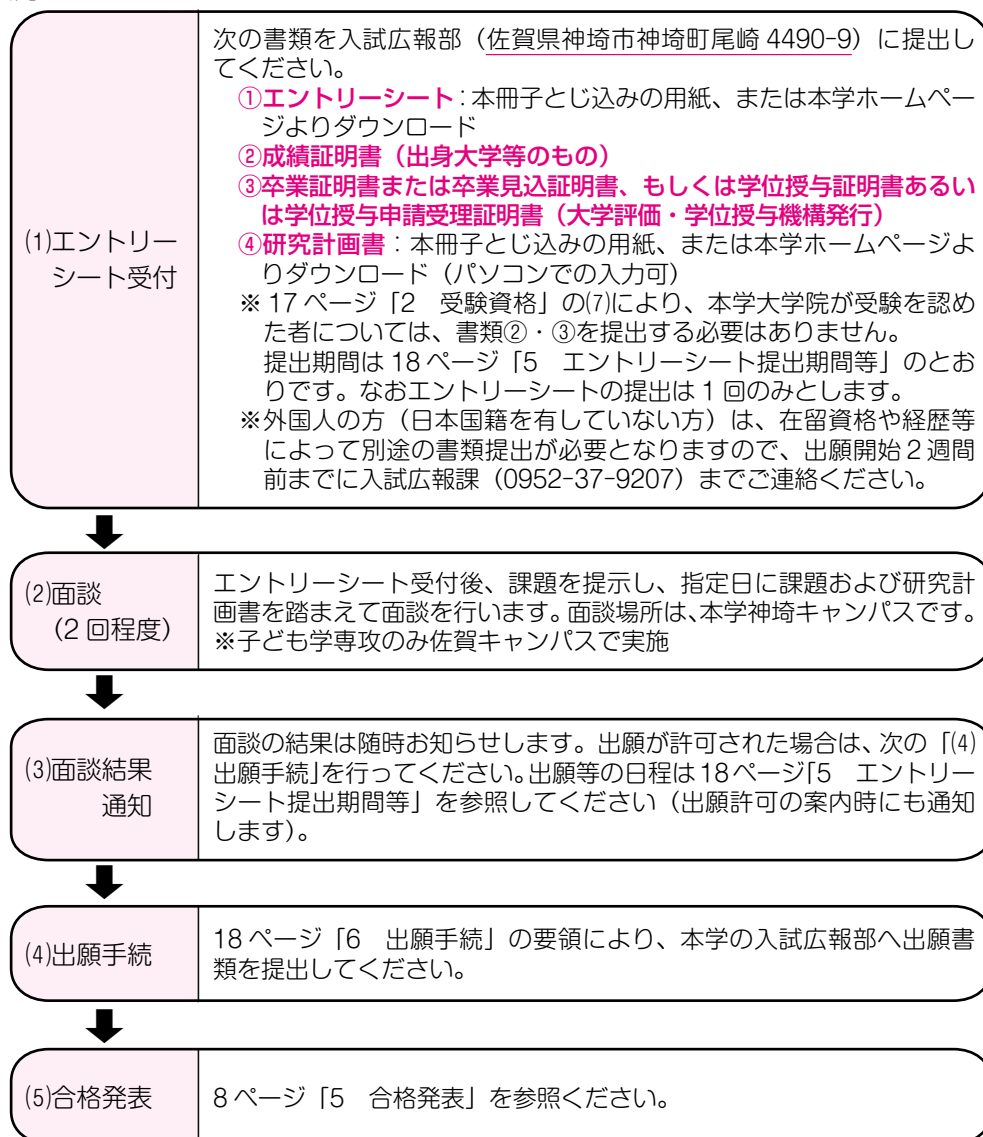
※審査書類は審査が終了しても返却しない。

〈審査書類提出先〉…入試広報部

〈提出期間〉…エントリーシートを提出する2週間前までに審査書類を提出すること

※この認定は本学大学院の判断により行うものであり、その効力は本学大学院についてのみ生じます。

3 AO方式試験の主な流れ …▶



4 選考方法 …▶ 提出書類および面談等の結果を総合して合否を判定します。

5 エントリーシート提出期間等 …▶

専攻	試験	エントリーシート提出期間 〔締切日に必着〕	出願期間 〔締切日の消印有効〕	合格発表日
健康栄養学専攻 地域生活支援学専攻 (博士前期課程)	I期	平成28年10月24日(月) ～11月25日(金)	平成29年1月10日(火) ～1月25日(水)	平成29年 2月14日(火)
	II期	平成28年11月28日(月) ～平成29年1月13日(金)	平成29年2月13日(月) ～2月23日(木)	平成29年 3月3日(金)
リハビリテーション学専攻 子ども学専攻	III期	平成29年1月16日(月)～ 以降随時	出願許可時通知	随時

6 出願手続（出願許可を受けた者のみ指定された期間に行うこと） …▶

ネットで出願を済ませた後、以下の書類を書留・速達で郵送してください（P. 5 参照）。

- (1) **ネット出願確認票・写真票**：ネット出願サイトから、出願登録および入学検定料納入後に発行される書類です。写真 2 枚(脱帽・上半身、縦 4cm×横 3cm、3 ヶ月以内に撮影したもの) を貼付してください。

授業科目及び担当教員一覧

〈平成28年度〉

専攻	分野	授業科目	単位数		担当教員		
			必修	選択			
健康栄養学	研究演習	特別研究	8		久野 一恵 教授 能見 光雄 教授 柳田 晃良 教授 石松 秀 教授 堀田 徳子 准教授	林 眞知子 教授 安田みどり 教授 横尾美智代 教授 四元 博晃 准教授	
	基礎分野	食品機能科学特論			2	柳田 晃良 教授	
		食品衛生学特論			2	林 眞知子 教授	
		食品分析化学特論			2	安田みどり 教授	
		生理学特論			2	能見 光雄 教授	
		基礎医学特論			2	石松 秀 教授	
		基礎栄養学特論			2	四元 博晃 准教授	
		自然環境科学特論			2	高橋 忠夫 (兼任)	
		公衆衛生学特論			2	横尾美智代 教授	
	展開分野	実践栄養学特論			2	久野 一恵 教授	
		臨床栄養学特論			2	安武健一郎 (兼任)	
		臨床栄養治療学特論			2	安武健一郎 (兼任)	
		栄養教育学特論			2	堀田 徳子 准教授	
		地域栄養ケア活動特論			2	久野 一恵 教授	
		栄養学研究法 (情報処理を含む)			2	古賀 浩二 教授	堀田 徳子 准教授
地域生活支援学 (博士前期課程)	研究指導	特別研究	8		古川 孝順 教授 滝口 真 教授 酒井 出 教授 福本 敏雄 教授 坂田 周一 教授	平塚 良子 教授 井本 浩之 教授 田中 豊治 教授 管原 正志 教授	
	基礎分野	地域生活支援学特論			2	古川 孝順 教授	
		地域生活支援学の方法			2	平塚 良子 教授	
		地域生活支援実践研究			2	滝口 真 教授	坂田 周一 教授
		社会福祉学原理特論			2	平塚 良子 教授	
		地域社会組織特論			2	田中 豊治 教授	
		地域再生・創生特論			2	永吉 守 (兼任)	
		地域福祉特論			2	坂田 周一 教授	
		生活哲学特論			2	井本 浩之 教授	
		健康科学特論			2	近藤 芳昭 准教授	
		生涯学習特論			2	香川せつ子 教授	
		社会環境特論			2	酒井 出 教授	
		ユニバーサルデザイン特論			2	米田 郁夫 教授	
		生活支援政策特論			2	古川 孝順 教授	
		生活支援援助特論			2	平塚 良子 教授	
	展開分野	施設運営管理特論			2	古川 孝順 教授	
		高齢者福祉特論			2	坂田 周一 教授	
		介護福祉特論			2	平塚 良子 教授	
		医療福祉特論			2	林 眞帆 (兼任)	
		精神保健福祉特論			2	古賀 靖之 教授	
		障害者福祉特論			2	滝口 真 教授	
		教育福祉特論			2	松田 次生 特任教授	
		生涯スポーツ特論			2	福本 敏雄 教授	
		健康スポーツ特論			2	管原 正志 教授	
地域支援スポーツ科学特論				2	山田 力也 准教授		

専攻	分野	授業科目	単位数		担当教員			
			必修	選択				
臨床心理学	研究演習	特別研究	8		古賀 靖之 教授 西村 喜文 教授 池田 久剛 教授	長野 恵子 教授 平川 忠敏 教授	教授 教授	
	基礎分野	臨床心理学特論Ⅰ	2		長野 恵子 教授			
		臨床心理学特論Ⅱ	2		池田 久剛 教授			
		臨床心理面接特論Ⅰ	2		古賀 靖之 教授			
		臨床心理面接特論Ⅱ	2		西村 喜文 教授			
		臨床心理査定演習Ⅰ	2		古賀 靖之 教授	平川 忠敏 教授		
		臨床心理査定演習Ⅱ	2		古賀 靖之 教授	平川 忠敏 教授		
		臨床心理基礎実習	2		長野 恵子 教授 利光 恵 准教授	池田 久剛 教授		
	臨床心理実習	2		古賀 靖之 教授 平川 忠敏 教授	高尾 兼利 教授 西村 喜文 教授			
	展開分野	心理学研究法特論		2	岡嶋 一郎 (兼任)			
		臨床心理学研究法特論		2	大野 博之 (兼任)			
		教育心理学特論		2	針塚 進 (兼任)			
		発達心理学特論		2	遠藤 利彦 (兼任)			
		犯罪心理学特論		2	日高みちえ (兼任)			
		臨床家族心理学特論		2	平川 忠敏 教授			
		精神医学特論		2	小林 隆児 (兼任)			
		心身医学特論		2	添嶋 裕嗣 (兼任)			
		老年心理学特論		2	長野 恵子 教授			
		障害児(者)心理学特論		2	眞田 英進 教授			
		投映法特論		2	高橋 昇 (兼任)			
心理療法特論			2	西村 喜文 教授				
学校臨床心理学特論			2	池田 久剛 教授				
臨床心理地域援助特論		2	平川 忠敏 教授					
リハビリテーション学	研究演習	特別研究	8		青山 宏 教授 大川 裕行 教授 小浦 誠吾 教授 庄野菜穂子 特命教授 上城 憲司 准教授 大田尾 浩 准教授	太田 保之 特命教授 溝田 勝彦 教授 宮原 洋八 教授 米田 郁夫 教授 久保 温子 准教授 田中 真一 准教授	教授 教授 教授 教授 准教授 准教授	
	基礎分野	リハビリテーション研究法特論	2		宮原 洋八 教授			
		リハビリテーション総合演習	2		溝田 勝彦 教授 上城 憲司 准教授	大川 裕行 教授		
	展開分野	身体機能障害領域	身体機能特論		2	田中 真一 准教授		
			高齢者身体機能支援特論		2	大田尾 浩 准教授		
			生涯発達支援特論		2	久保 温子 准教授		
			高齢者障害理学療法特論		2	宮原 洋八 教授		
			中枢神経障害理学療法特論		2	八谷 瑞紀 講師		
			スポーツ健康支援特論		2	大川 裕行 教授		
			機能障害支援評価学特論		2	古後 晴基 講師		
		脳・精神機能障害領域	高次脳機能障害作業療法特論		2	田平 隆行 (兼任)		
			認知症性障害作業療法特論		2	上城 憲司 准教授		
			精神機能障害学特論		2	太田 保之 特命教授		
			精神機能障害作業療法特論		2	青山 宏 教授		
		生活機能障害領域	健康運動学特論		2	庄野菜穂子 特命教授		
			生活活動障害系理学療法特論		2	溝田 勝彦 教授		
			生活行為障害系作業療法特論		2	長尾 哲男 教授	藤原 和彦 講師	
			生活環境支援特論		2	米田 郁夫 教授		
	地域生活支援特論			2	小松 洋平 講師			
	作業人類学特論			2	未 定			
フィットセラピー特論		2	小浦 誠吾 教授					

専攻	分野	授業科目	単位数		担当教員			
			必修	選択				
子ども学	研究演習	特別研究	8		香川せつ子 教授 眞田 英進 教授 金久 慎一 教授 櫻井 琴音 教授 松井 克行 准教授 松本 大輔 准教授	赤星まゆみ 教授 高尾 兼利 教授 前村 晃 教授 三島 正英 教授 田中 麻里 准教授 川上 貴 講師	教授 教授 教授 准教授 准教授 講師	
	基幹分野	子ども学特論	2		香川せつ子 教授 赤星まゆみ 教授 三島 正英 教授	眞田 英進 教授 高尾 兼利 教授	教授 教授	
		子ども学実践演習Ⅰ (子ども支援の展開)	2		古川 孝順 教授 眞田 英進 教授 高尾 兼利 教授 田中 麻里 准教授	香川せつ子 教授 赤星まゆみ 教授 佐藤 範男 講師	教授 教授 (兼任)	
		子ども学実践演習Ⅱ (子ども教育の展開)	2		金久 慎一 教授 櫻井 琴音 教授 松本 大輔 准教授 飯盛 啓生 講師	前村 晃 教授 松井 克行 准教授 川上 貴 講師	教授 准教授 講師	
	教育分野	教育社会史特論		2		香川せつ子 教授		
		カリキュラム特論		2		赤星まゆみ 教授		
		教育制度特論		2		赤星まゆみ 教授		
		発達心理学特論		2		三島 正英 教授		
		教育心理学特論		2		未 定		
		学校マネジメント特論		2		高妻紳二郎 (兼任)		
		特別支援教育特論		2		眞田 英進 教授		
	教科分野	言語教育特論		2		金久 慎一 教授		
		社会科教育特論		2		松井 克行 准教授		
		環境教育特論		2		飯盛 啓生 講師		
		算数教育特論		2		川上 貴 講師		
		造形教育特論		2		前村 晃 教授		
		音楽教育特論		2		櫻井 琴音 教授		
		身体教育特論		2		松本 大輔 准教授		
	支援分野	子どもの食育特論		2		堀田 徳子 准教授		
		学校ソーシャルワーク特論		2		門田 光司 (兼任)		
		児童家庭支援特論		2		古川 孝順 教授 所 貞之 (兼任)		
		子どもの保健特論		2		小柳 康子 (兼任)		
		障害児保育特論		2		田中 麻里 准教授		
		子育て支援特別演習		2		田中 麻里 准教授		
		子どもの臨床心理特別演習		2		高尾 兼利 教授		
	共通	生活支援科学特論	2		青山 宏 教授 古賀 靖之 教授 田中 麻里 准教授	古川 孝順 教授 安田みどり 教授	教授 教授	
	開講単位数	健康栄養学専攻計	10	28	(修了要件) 必修、選択科目あわせて30単位以上(臨床心理学専攻は36単位以上)修得し、かつ、修士論文の審査及び試験に合格すること。			
地域生活支援学専攻(博士前期課程)計		10	48					
臨床心理学専攻計		26	28					
リハビリテーション学専攻計		14	36					
子ども学専攻計		16	42					

専攻	分野	授業科目	単位数		担当教員
			必修	選択	
地域生活支援学 (博士後期課程)	特別演習	特別研究Ⅰ	4		古川 孝順 教授 田中 豊治 教授 酒井 出 教授 平塚 良子 教授 管原 正志 教授 平川 忠敏 教授
		特別研究Ⅱ	4		古川 孝順 教授 田中 豊治 教授 酒井 出 教授 平塚 良子 教授 管原 正志 教授 平川 忠敏 教授
		特別研究Ⅲ	4		古川 孝順 教授 田中 豊治 教授 酒井 出 教授 平塚 良子 教授 管原 正志 教授 平川 忠敏 教授
	原理分野	地域生活支援学特殊研究(1) 地域生活支援学原理	2		古川 孝順 教授
		地域生活支援学特殊研究(2) 地域社会における関係性の視点と枠組み		2	永吉 守 (兼任)
		地域生活支援学特殊研究(3) 地域社会における心理的諸問題の視点と枠組み		2	平川 忠敏 教授
		地域生活支援学特殊研究(4) 地域社会組織の視点と枠組み		2	田中 豊治 教授
		地域生活支援学特殊研究(5) 地域社会政策の視点と枠組み		2	阿部 誠 (兼任)
		地域生活支援学特殊研究(6) 地域生活支援施策の視点と枠組み		2	古川 孝順 教授
		地域生活支援学特殊研究(7) 地域生活支援援助技術の視点と枠組み		2	平塚 良子 教授
	展開分野	地域生活支援学特殊講義(1) 地域創生人材育成の視点と方法		2	井本 浩之 教授
		地域生活支援学特殊講義(2) 地域社会組織化の視点と方法		2	小松理佐子 (兼任)
		地域生活支援学特殊講義(3) 地域高齢者支援の視点と方法		2	坂田 周一 教授
		地域生活支援学特殊講義(4) 地域障がい者支援の視点と方法		2	滝口 真 教授
		地域生活支援学特殊講義(5) 地域健康支援の視点と方法		2	管原 正志 教授
		地域生活支援学特殊講義(6) 地域スポーツ支援の視点と方法		2	西村 秀樹 (兼任)
		地域生活支援学特殊講義(7) 国際地域社会研究の視点と方法		2	酒井 出 教授
	研究演習	地域生活支援研究演習(1) ミクロレベル実践(直接支援法)研究		1	平塚 良子 教授
		地域生活支援研究演習(2) メソレベル実践(組織・施設支援法)研究		1	坂田 周一 教授
		地域生活支援研究演習(3) マクロレベル実践(企画立案支援法)研究		1	田中 豊治 教授
	開講単位数	地域生活支援学専攻 (博士後期課程)計	14	29	(修了要件) 必修科目14単位、選択科目は原理分野及び展開分野から6単位以上、研究演習から1単位以上、合計21単位以上を修得し、必要な研究指導を受け、博士論文の審査及び試験に合格すること。

大学院担当教員

〈平成28年度〉

健康栄養学専攻		地域生活支援学専攻（博士前期課程）		臨床心理学専攻	
教授	久野 一恵	教授	古川 孝順	教授	古賀 靖之
教授	林 眞知子	教授	平塚 良子	教授	長野 恵子
教授	能見 光雄	教授	田中 豊治	教授	西村 喜文
教授	古賀 浩二	教授	坂田 周一	教授	平川 忠敏
教授	安田みどり	教授	井本 浩之	教授	池田 久剛
教授	柳田 晃良	教授	酒井 出	准教授	利光 恵
教授	横尾美智代	教授	滝口 真		
教授	石松 秀	教授	管原 正志		
准教授	四元 博晃	教授	福本 敏雄		
准教授	堀田 徳子	特任教授	松田 次生		
		准教授	近藤 芳昭		
		准教授	山田 力也		

リハビリテーション学専攻		子ども学専攻		地域生活支援学専攻（博士後期課程）	
特命教授	太田 保之	教授	香川せつ子	教授	古川 孝順
特命教授	庄野菜穂子	教授	赤星まゆみ	教授	平塚 良子
教授	青山 宏	教授	眞田 英進	教授	田中 豊治
教授	大川 裕行	教授	高尾 兼利	教授	坂田 周一
教授	溝田 勝彦	教授	金久 慎一	教授	井本 浩之
教授	小浦 誠吾	教授	前村 晃	教授	酒井 出
教授	長尾 哲男	教授	櫻井 琴音	教授	滝口 真
教授	宮原 洋八	教授	三島 正英	教授	平川 忠敏
教授	米田 郁夫	准教授	松井 克行	教授	管原 正志
准教授	上城 憲司	准教授	田中 麻里		
准教授	大田尾 浩	准教授	松本 大輔		
准教授	田中 真一	講師	川上 貴		
准教授	久保 温子	講師	飯盛 啓生		
講師	八谷 瑞紀				
講師	古後 晴基				
講師	藤原 和彦				
講師	小松 洋平				

学費減免制度（外国人留学生対象）

西九州大学では、経済援助を必要とする私費外国人留学生に対しての入学金、授業料の減免制度があります。該当となる方は、必要書類を出願書類（ネット出願確認票・写真票等）と併せて入試広報部まで提出してください。

対象者（学長が認めた者のうち以下の条件を満たす者）	内容
<ul style="list-style-type: none"> 出願時から過去3年以内もしくは入学時まで、日本語能力試験（JLPT）N 1 取得、日本留学試験（EJU）「日本語」の得点を250点以上取得した者、J.TEST 実用日本語検定の得点を650点以上取得した者 入学後に上記の条件を満たした場合は、その次年度から特例対象 	入学金 50%免除 授業料 50%免除
<ul style="list-style-type: none"> 出願時から過去3年以内もしくは入学時まで、日本語能力試験（JLPT）N 2 取得、日本留学試験（EJU）「日本語」の得点を200点以上取得した者、J.TEST 実用日本語検定の得点を500点以上取得した者 入学後に上記の条件を満たした場合は、その次年度から特例対象 	入学金 50%免除 授業料 30%免除

※必要書類：日本語能力試験合否結果通知書（写し）または日本語能力認定書（写し）またはそれに代わるもの

本学独自の奨学金制度

本学独自の以下の奨学金制度については、出願時点での申し込みが必要です。採用資格に該当する志願者は、「平成29年度西九州大学奨学金申請書（本冊子とじ込みの用紙、または本学ホームページよりダウンロード）」に必要事項を記入の上、必ず出願書類（ネット出願確認票・写真票等）と併せて入試広報部まで提出してください。なお、採用資格の確認などのため、本学より連絡する場合があります。

(1) 奨学金制度の概要

奨学金名称	内容	採用資格	募集人員
兄弟姉妹在籍奨学金 ※返還不要	入学金半額免除 ※大学院の場合	同一世帯から西九州大学（大学院）及び西九州大学短期大学部に2名以上在学する場合、2人目以上の者（兄弟姉妹が同時に在学している期間のみ）	採用資格を満たした全員

(2) 申請方法 以下の要領により、奨学金申請書を提出してください。

提出書類：平成29年度西九州大学奨学金申請書（本冊子とじ込みの用紙、または本学ホームページよりダウンロード）

提出期限：各試験の出願期間に同じ

提出方法：受験する試験の出願書類に同封し、郵送または持参（平日9時～16時）すること

提出先：西九州大学 入試広報部 〒842-8585 佐賀県神埼市神埼町尾崎4490-9

(3) その他 採用資格の確認などのため、本学より連絡させていただく場合があります。

◆奨学金に関するお問い合わせ

入試広報部 〒842-8585 佐賀県神埼市神埼町尾崎4490-9

TEL (0952) 52-4191 (代)

長期履修制度

西九州大学大学院では、仕事を持ちながら学ぼうとする社会人などを対象に、あらかじめ、標準修業年限（修士課程・博士前期課程2年、博士後期課程3年）を超えた長期間での履修計画を立て、それに基づいて在籍することを認める長期履修制度を導入しています。

この制度の利用を希望する受験生は、以下1～6をご参照の上、**出願時に**長期履修申請書（本冊子とじ込みの用紙、または本学ホームページよりダウンロード）を提出してください。

1. 申請対象者	<p>1. 本大学院の受験を希望する者で、かつ次の各号のいずれかに該当する者。ただし、留学生は対象としない。</p> <p>①職業を有し、就業している者</p> <p>②家事、育児、介護等に当たる必要があるため、修学、研究の時間が制限される者</p> <p>③その他、学長が相当と認めた者</p>
2. 長期履修期間	<p>1. 在学年限の範囲内で、1年単位で定める。</p> <p>①修士課程・博士前期課程にあつては、3年または4年</p> <p>②博士後期課程にあつては、4年、5年または6年</p> <p>2. 休学期間は、長期履修期間に算入しない。</p> <p>3. 長期履修生は入学後、必要な単位を修得していることを条件として、1回に限り期間短縮を申請することができる。</p> <p>4. 長期履修期間中に修了できない場合は、在学年限内であれば留年となる。</p>
3. 申請手続	<p>1. 長期履修を希望する受験生は、出願時に他の必要書類に加えて次の書類を提出する。</p> <p>①長期履修申請書（本冊子とじ込みの用紙、または本学ホームページよりダウンロード）</p> <p>②「職業を有し、就業している者」ことを申請理由とする場合は、在籍証明書または在職が確認できる書類</p> <p>③「家事、育児、介護等に当たる必要があるため、修学、研究の時間が制限される者」および「その他、学長が相当と認めた者」ことを申請理由とする場合は、当該事実もしくは事情を証する書類又は申立書</p> <p>※申請受付は出願時に限る</p>
4. 選考	<p>研究計画書などの書類審査や個人面接を通じて長期履修の可否についても審査した上で、総合的に合否判定を行う。ただし、入学が許可された場合でも、長期履修申請は不可になることもある。</p>
5. 教育課程	<p>長期履修期間中の授業の履修および単位の修得については、専攻長もしくは研究指導教員の指導による。ただし、学期ごとの履修申請単位数に上限を設けることがある。</p>
6. 授業料	<p>1. 標準修業年限分の授業料を、長期履修年数に応じて以下の計算式に従い算出した額を分割分納する。</p> <p>通常の授業料年額×標準修業年数÷設定した長期履修年数＝長期履修による授業料年額 (博士後期課程で5年の長期履修が認められた場合、授業料610,000円×3÷5＝366,000円)</p> <p>2. 在学中に授業料の改定が行われた場合には、改定年度から新授業料を適用する。</p> <p>3. 期間短縮する場合には、標準修業年限分の授業料から納入済額を差し引き清算する。</p> <p>4. 入学金、その他保険料等は、別に定めた規程に従って納入する。</p> <p>5. 入学手続きは通常通りの期間に行い、1.で算出した額を納入する。</p>

平成 28 年熊本地震被災者への 入学検定料免除の特別措置について

西九州大学

平成 28 年熊本地震による被害に遭われた皆様に心からお見舞い申し上げます。

西九州大学では、熊本地震により被災された世帯の受験生に対し、経済的支援を図るため、以下の特別措置を行いますので、該当される方は所定の手続きにより申請書の提出を入試広報課へお願いいたします。

1. 対 象

熊本地震による災害救助法適用地域に本人または家計支持者が居住しており、下記のいずれかに該当される方

- (1) 災害により家計支持者が亡くなられた場合
- (2) 災害により家計支持者の居住する家屋が全壊した場合、または半壊等により引き続き同家屋に居住することが困難と認められる場合
- (3) その他、災害により学費支弁が著しく困難と認められる場合

2. 措置内容

本学が定める平成 29 年度入学者選抜試験（学部・大学院）の入学検定料を全額免除します。

3. 申請書類

- 1) 「入学検定料免除申請書」（本冊子とじ込みの用紙、または本学ホームページよりダウンロード）
- 2) 被災状況証明書（市区町村役場発行の罹災（被災）証明書等（写しも可））

※提出された書類をもとに審査し、結果を申請書記載の連絡先に通知します。

4. 申請期限

各入学試験の出願期間開始日より 1 週間前までに、必要書類を入試広報課までご提出ください。

5. その他の特別措置

入学検定料が免除となった者に対し、学費等の減免措置として、本学が定める入学金の半額および 1 年次前期授業料の半額を免除します。※本学園「学生生徒納付金特例」を適用。

● 神埼キャンパス ACCESS



● 本学までの交通手段

- JR長崎本線「神埼」駅下車、
JR神埼駅北口～大学間スクールバス(無料) を運行：約15分
- 西鉄バスの場合は「神埼駅通り」下車、
JR神埼駅北口～本学間スクールバス(無料) を運行：約15分
- 長崎自動車道東脊振インターより約15分
- 長崎自動車道佐賀大和インターより約15分

入試に関する問い合わせ先

学校法人 永原学園



西九州大学

(国営 吉野ヶ里歴史公園西)

(入試広報部)

〒842-8585 佐賀県神埼市神埼町尾崎4490-9
 TEL 0952-52-4191(代表) FAX 0952-52-4194
 TEL 0952-37-9207(入試広報課直通)
 ホームページアドレス <http://www.nisiky-u.ac.jp>
 E-mail nyusi@nisiky-u.ac.jp

